

議会だより おふせ

No. **94**
2018.10.20
発行 長野県小布施町議会



- 平成29年度一般会計決算のあらましと概要…………… P 2
- 同上・決算監査委員報告と特別委員長総括…………… P 3
- 同上・決算特別委員会(第1・第2分科会)審査…………… P 4～6
- 平成30年度補正予算の審議…………… P 7・8
- 請願1件採択、人事案件承認…………… P 8
- 議員のなり手不足検討委員会報告…………… P 9
- 議員一般質問…………… P 9～21
- 議会日誌(活動・研修会他)…………… P 22・23

運動会
真剣な眼ざしで更新する鼓笛隊。
認定こども園
小布施町立栗ガ丘幼稚園の園児たち

議会傍聴記



本間 広之

来年春の統一選を控えているためかどうか、議員のなり手不足について、9月議会の一般質問を傍聴する機会がありました。

一般質問初日の午前中傍聴席に行くと私を含め3名の傍聴者。何か寂しい感じでした。

良し悪しは別として、かつて議員が各自治会の推薦で選出されていた

時は、もつと議会と住民の距離が近い感じがありました。地元の議員が一般質問をするので議会の傍聴をしてほしいと自治会から要請があったように記憶しております。

それだけ議会にも関心があったのではと思います。

傍聴して一々感じた事、それは質問の内容に関わらず議員は大変だなと思いました。

何故かと言うと、年4回の本会議(議長を除く)全員が1問～3問の質問をしているからです、本会議と次の本会議の間は3ヶ月しか無いの

に質問内容の調査検討を行い次の本会議に備えるのはすごく大変ではありませんか。

機会があったら、議員にその辺の事について聞いて見たいと思いました。

質問が、単なる質問に終わらせなために、一般質問の在り方についても議会の中で検討してはどうでしょうか。

最後になりましたが、議員の皆さんが日々御苦労奮闘されている姿を垣間見ることができました。町民の皆さんも機会を捉え議会の傍聴をお勧めします。

第51回鳳凰祭 きらめき ～煌～ 小布施中学校三二運動会



バトンタッチ



日本舞踊



紅



白

玉入れ



～煌きらめき～

編集後記

朝夕がすっかり涼しくなり、季節の移り変わりが肌で感じられます。体調を崩さないように気をつけたい時季です。

今年も残すところ2カ月あまりとなりまして、新しい年号の新年が間もなくと近づいてまいりました。

「平成」の次の時代にも小布施町がますます発展できるように、そしてそのお手伝いができるように、努めて参ります。

現委員会メンバーでの議会だよりの発行も残すところ、1月と4月の2回となりました。最後までチームワークを活かして頑張りたいと思います。

発行責任者	関 悦子
議長	悦子
議会広報常任委員会	
委員長	福島 浩洋
副委員長	小西 和実
委員	富岡 信男
	小淵 晃
	渡辺 建次
	小林 正子
	関 悦子

平成29年度
決算

住民福祉の向上のために予算が使われ、
最小の経費で最大の効果が
あげられているかを審議！

監査委員の意見

行財政運営の
健全性を評価



大島監査委員 畔上代表監査委員

平成29年度の監査において、従来から行ってきた町の財務に関する事務の執行および運営に関する管理等が住民福祉の向上、事務事業の効果性・経済性、運営の合理化等に資しているかを主体に行いました。

その結果、行財政運営は当初の予算・計画に沿って積極的に実施され、おおむね妥当、健全なものとして認められました。

また、監査全般にわたって1 町の目指す協働のまちづくりについては、町民が期待する将来像は何かをあらゆる機会を通して的確かつ確実に把握し、着実にその

2 歩みを進めてほしい。多くの町民が期待するところの環境整備には現状を見る限り多くの財源、労力、知恵が必要とされる。厳しいが「選択と集中」の言葉に沿って実践された。

3 行政サービスの向上に向けては、従来の固定観念から脱却し、情性の事務運営でなく、前向きな姿勢で取り組まれない。多様な施策を自主的・総合的に推進して活力ある町づくりに邁進されることを切望する。ということを指摘いたしました。



子どもたちの成長を応援!!

決算特別委員会
審査の総括



委員長 川上健一

今後 事業遂行を注視します

平成29年度決算審査にあたっての基本的な姿勢はこれまでと同じく町が掲げる、5つの重点施策につき、各事業が町民の福祉向上の視点に立って進められているかどうかであり、細部にわたり審議致しました。

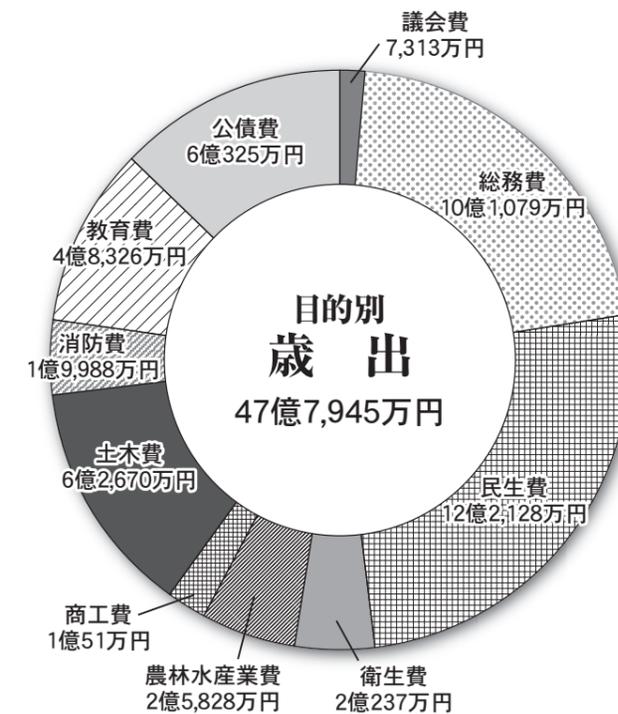
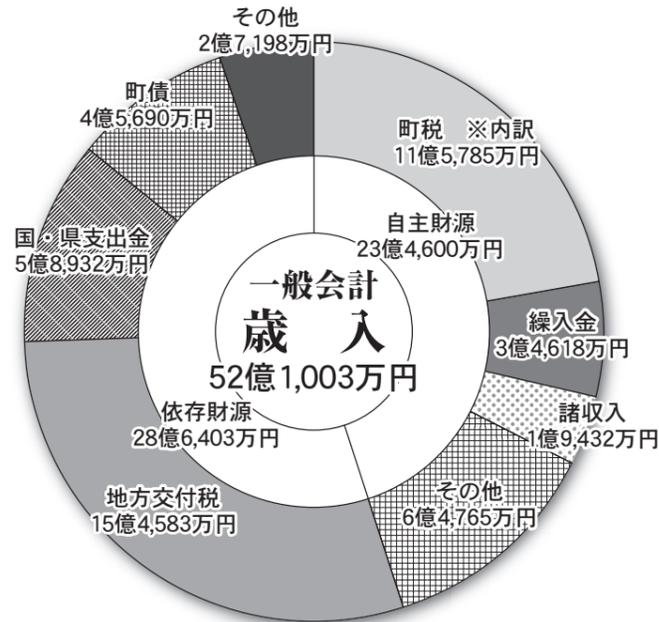
議長と監査議員を除く12名が第一分科会、第二分科会に分かれ、活発な質疑が行われました。今回も予算額と決算額に大幅な乖離のある事業、費用対効果が数字として表れにくい事業、成果が認められない事業について詳細な説明を求めました。

事業遂行は概ね計画通り進められています。が、今後も町民のための施策が進められているか注視していきます。

平成29年度重点施策の成果と概要

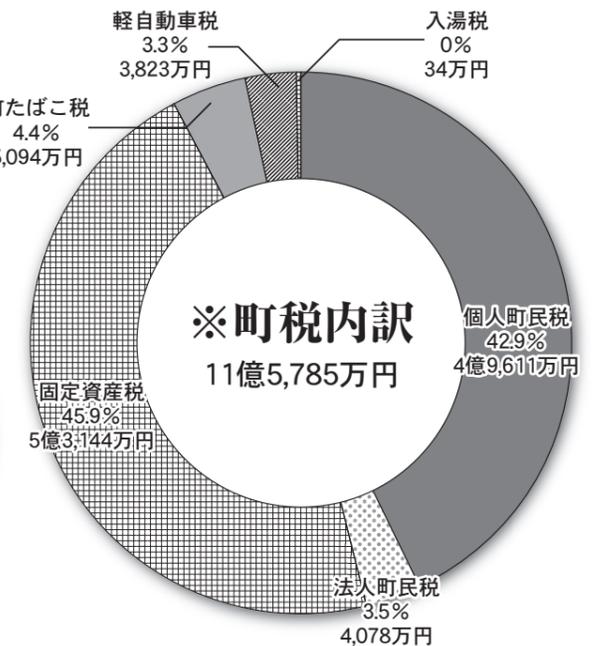
1. 健康と福祉の充実
2. 子育て支援と生涯学習の充実
3. 協働と交流による定住促進
4. 活力ある産業の創出
5. 地域の安全と安心の推進

平成29年度 一般会計歳入歳出決算 **52億1003万円**
(前年比1.4%増)
4億3058万円を次年度へ繰り越し



9月会議のあらまし

9月会議は9月3日から21日まで19日間開催されました。9月会議では、平成30年度一般会計外補正予算5件、平成29年度一般会計外歳入歳出決算認定7件。町道路線の認定について審議し、議案を原案のとおり可決、認定しました。最終日に監査委員と教育委員の任命について追加議案が提出されいづれも同意しました。



決算特別委員会

仕事の出来高と出来具合をチェック

施策の効果を確かめる

事業は適正・効率的か!!
行政効果は!!

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、9月11日から4日間に集中審査を行いました。一般会計など8会計を行いました。審査した結果、全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。ここでは、分科会審議での質疑を要約してお伝えします。

第二分科会の審査(主なもの)

歳入

Q 町税の不納欠損の内容と処理の考え方は。

A 個人2件と法人1件で処理を行っており、個人の状況を見て滞納処分を行っていか。

Q 地方交付税の算出で、国の施策による町税の減税部分はどうなっているか。
A 恒久的な減税分は、交付税で補填されている。

総務費

Q 「グラフ小布施」の内容はどのような考

え方で作成したのか。また、検証をしているのか。

A 町への愛着、誇りを共有し高め、町外からも共感を生むために作成。今後も広く意見を聞きながら作成を行う。

Q 未婚率上昇の要因調査の方法及び公表はどのように行ったのか。
A 紙ベースで回収等の調査を実施し、結果はインターネットで公表している。

Q 体験型サテライトオフィス事業の決算額と参加企業の活動

実績は。

A 整備工事費1,139万円、誘致の委託料100万円。参加企業はIT企業1社で、地域通貨の検討や栗茶の製造等を行った。

農林水産業費

Q 有害鳥獣による農作物の被害額及び被害状況と駆除数減の理由は。
A 被害額は210万円。猟友会員減の関係で、わ

な設置数が限られ減少した。

商工費

Q キャラクター出演は効果があるのか。グッズ作成の目的は。
A 出演した場所等の検証を行う。グッズは今後、活用を検討していきたい。

Q 観光に対するクレームの内容と対応はどのように。
A 町内企業、農作物の購入関係等が主なもの。観光協会と町が対応をしている。

土木費

Q 松川治水要望はどのような内容か。
A 治水砂防の整備促進を目的に実施している。

Q 国道403号整備の進捗状況は。
A 29年度は、県予算で中町南く北斎館入り

平成29年度各会計決算と議決状況

会計別	歳入	歳出	委員会	本会議
一般会計	52億1003万円	47億7945万円	賛成多数	賛成多数
国民健康保険	16億2788万円	14億8478万円	賛成多数	賛成多数
後期高齢者医療	1億4841万円	1億4834万円	賛成多数	賛成多数
介護保険	9億4090万円	8億9824万円	賛成多数	賛成多数
同和地区住宅新築資金等貸付	40万円	33万円	全員賛成	全員賛成
下水道事業	4億6870万円	4億6819万円	全員賛成	全員賛成
農業集落排水事業	9917万円	9868万円	全員賛成	全員賛成
水道事業	(収益的収支)	2億2094万円	全員賛成	全員賛成
	(資本的収支)	570万円		

平成29年度一般会計等の財政構造と健全化判断比率

実質収支比率	経常収支比率	実質公債費率	将来負担比率	財政力指数
(財政の堅実度)	(財政の弾力性)	(全会計の償還額が標準財政規模に占める割合)	(将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合)	(財政の豊かさを計る)
11.5%	88.4%	88.4%	15.6%	0.42

第一分科会

重点施策の進捗管理と的確な評価を



第一分科会長 小林 一広

29年度の重点施策を含めた各種事業の成果を検証し、予算がどのように使われたのか歳入歳出を審査し更に、予算要望書を提出していることから、内容に

第二分科会

行政運営はメリハリのある姿勢を



第二分科会長 小西 和実

少子高齢化により近い将来に小布施町の財政が先細りしていくであろう中、いかに効果のある事業実施をしていけるかが重要課題で

についても慎重審議しました。昨今の集中豪雨に対する雨水対策、公共施設等総合管理計画事業実施や国の財政措置の検討、ブランド戦略事業、パワーストーンキング事業等の成果・継続の是非、また、財政の先細りが懸念される、町税等の未納額の増加に対し、適切な不納欠損処理なのか他の意見をまとめ全員一致で認定しました。

す。歳入と歳出の今後の見通しの中では、公共施設の維持と社会保障の両立をしていくだけでも、今後は厳しい行政運営となっていくように見受けられます。行う事業の実施内容を充実させ、また効果の低い事業や住民に不要な事業は廃止するといったメリハリのある姿勢が今後は必要です。

口までの物件保証、電線地中化類の調査を実施。

本会議で賛否が分かれた議案

下記以外の議案は 全議員賛成で認定・議決しました	賛=賛成、反=反対、(- 議長は裁決に加わらない)												
	中村雅代	福島浩洋	富岡信男	小西和実	川上健一	山岸裕始	小林一広	小林茂	小淵見	渡辺建次	関谷明生	大島孝司	小林正子
平成29年度一般会計歳入歳出決算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
平成29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反
平成29年度介護保険特別会計歳入歳出決算	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反

7 月 会 議

160万円の補正予算を可決

7月26日、7月会議を開催し条例改正1件、一般会計1件の補正予算を審議し、それぞれ原案のとおり全員挙手にて可決しました。

条例改正 1 件

- 小布施町税条例の一部を改正する条例
 - ・町の認定を受けた中小事業者等が先端設備等を導入した場合に、3年度分の固定資産税について非課税(零円)とする条例
 - ・平成30年7月5日から3年間

一般会計補正予算 主な内容

1、企画費 286千円

- ・サテライトオフィスブロック塀撤去、生け垣植栽工事等

9 月 会 議

4億2,611万円の補正予算を可決

平成30年9月3日~21日に開催し、7,116千円(第4号)と418,999千円(第5号)の歳入歳出をそれぞれ追加し、年間予算を4,951,322千円としました。

平成30年度 一般会計補正予算・主な審議の内容

第4号 (7,116千円)

- ・レストランおぶせ花屋、屋根修繕工事 1,296千円
- ・県道中野小布施線兼用側溝改良工事負担 5,820千円

第5号 (4億18,999千円)

- ・財政調整基金積立金 126,901千円
- ・療養給付負担金県納金 7,247千円
- ・特定健康診査等負担金返納金 176千円

小布施町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

- ・予備費 67千円

小布施町介護保険特別会計補正予算(第1号)

- ・総合相談支援・権利擁護事業 △2,385千円
- ・総合相談支援・権利擁護事業 一般職人件費 △1,226千円
- ・一般職人件費 7,924千円
- ・国庫負担返還金 7,327千円

小布施町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

- ・予備費 210千円

小布施町農業集落排水事業特別会計補正予算

- ・予備費 384千円

小布施町道路線の認定について

道路法第8条第2項の規定により、小布施町道路線を下記のとおり認定するものとする。

路線名	町道719号	
起点	小布施町大字小布施字伊勢裏1428-1	延長(m) 49.2
終点	小布施町大字小布施字伊勢裏1428-1	幅員(m) 6.0~10.8

決算特別委員会

重点施策の結果は



施策の効果を質問する特別委員会

第二分科会の審査(主なもの)

- ◎ 民生費
 - ◎ 民生児童委員の活動指標で生活保護が二件が廃止されているのはなぜか。
 - ◎ 一件は死亡、一件は親族の扶養になりました。
 - ◎ 複合型介護施設の

- ◎ 整備で、補助金の内容は。
 - ◎ 施設を開所するのは掛かる経費については国からの助成です。
 - ◎ 理美容サービスについてなぜ利用がなかったのか。
 - ◎ 一昨年度は実績二件だった。利用が少ないのは、デイサービス等の独自サービスで散髪する方が多いことが要因と思われます。
 - ◎ 在宅高齢者のタクシー助成について、範囲は広げないのか。
 - ◎ 対象者については非課税世帯の高齢者となっている。当面は現状のまま継続してまいります。

衛生費

- ◎ 生活習慣病の予防検診の内容と結果、その対応については。
 - ◎ 小中学校については予防教室という形で行っています。結果

- ◎ はわかりませんが、食に関する講話も行っていきます。
 - ◎ 多くの方に保健福祉員の役割を担って頂いているわけですが、活動の実態についてどう捉えているか。
 - ◎ お忙しい中、大変良く活動を担っていただいている。生活習慣予防とウォーキングにテーマを絞らせていただいで学習会を開催しています。
 - ◎ 三歳児検診について、目や耳の検査についてはどうしているのか。
 - ◎ 障害児のタイムケアの実利用者の実数は何人なのか。
 - ◎ タイムケア利用者数は28人です。
 - ◎ 内科診察、歯科診察、栄養士の指導もあります。高山村や須坂市と一緒に先駆けて、視能訓練士を取り入れて検診しています。
 - ◎ 不法投棄について、地域外の見回りはどうしているのか。
 - ◎ 各自自治会から選出

教育費

- ◎ 教育委員会の定例会や臨時会ではどのような内容があったか。
 - ◎ 条例・規則の改正や予算・決算についての報告、幼保小中学校の運営方針の説明や事業の報告を行っている。
 - ◎ 朝食の啓発について、どのように行ったのか。
 - ◎ 朝食の大切さについてパンフレットの配布を通じて説明していくことで、保護者の皆さまにお伝えしました。
 - ◎ 朝食の補助食として、なぜカロリーメイトを採用したのか。
 - ◎ おにぎりなども検討しましたが、日持ちのするものということとで、カロリーメイトを採用しました。
 - ◎ 学習支援セミナー

- ◎ 及び夏季セミナーの受け入れする人数はどのくらいを想定したのか。
 - ◎ 会場の関係や講師の対応できる人数から30人程を想定していたが、想定通りの応募となりました。
 - ◎ 学力に関係なく、一緒に授業を受けさせることが教育の上では必要と考えるが中学校の習熟度別学習の効果はどのようにあるのか。
 - ◎ 自主性を尊重しながら、各生徒に習熟度に沿って適正な学習が行われています。
 - ◎ HIAB について、ハーバード大学の理念に沿っているとは、どういうことか。また、町内からの参加者が少ないが。
 - ◎ 固定観念に捕らわれず、自分の可能性を広げていけるように発想を広げられている。一昨年度は2人、昨年度は6人だったが、引き続き参加者増に努力します。

等について説明を受け、次回からの委員会の進め方について確認をいたしました。

① 議会基本条例
② 通年議会
③ 議会と行政との関係
④ 議会の政策立案

町内公募委員10人と町議会委員6人の16人（内女性5人）にて検討委員会を議会議室で開催しました。

はじめに議長より委嘱状が渡され検討委員会の趣旨説明のあと、16人全委員の自己紹介、事務局から提出された検討委員会設置要綱（案）の承認をいたしました。

設置要綱に従い小淵晃議員を委員長に高野薫さんを副委員長に互選し、議事に入り委員長より現状の議会運営と活動について、関谷議員（議会政策立案常任委員長）からは

第1回（8月24日）

「議員のなり手不足検討会」開催

第2回（9月20日）

公募委員より求められた資料についての説明をしました。町議会議員に立候補しやすい環境をどうつくっていくかについて全委員から様々な発言がありました。



さまざまな質問や意見が出た検討委員会

10月会議 45万円の補正を可決

平成30年10月1日に開催し一般会計補正予算（第6号）の歳入・歳出それぞれ450千円を追加し、年間予算の総額を49億5177万円としました。

一般会計補正予算の主な審議の内容

農業振興費 450千円
・台風21号被害による義援金（450千円）

政策立案常任委員会審査（9/18）…請願者6人傍聴

請願書第3号

種子法廃止に伴う県に新たな条例制定を求める請願

- 審査中の主な発言として
 - ・県に求める条例は、どの様な項目を考えているか。
 - ・法廃止に伴い食の安全供給と安全性が懸念される、国へ地方議会からも声をあげるべき。
 - ・請願の趣旨は県へ意見書を提出することであり、県は条例制定・制度設計を考えているので町として提出する必要がないのでは。
 - ・消費者の意見を大切にすることから県への意見書は必要と考える。
- 本会議（最終日）にて採択
- 議長名で意見書を県知事宛に提出することを採択



請願第3号を審査中の委員会

9月会議 一般質問

目次

小林 一広	10	関谷 明生	15
(1)浅川第三排水堤防が完成し吉島地区の農地は浸水から守られるのか		(1)気候変動適応法の取り組みは	
小西 和実	11	(2)体験型サテライトオフィスの利用実績と今後の展開は	
(1)地域交通を整備する際の優先順位は		大島 孝司	16
(2)小布施町行政における働き方改革の進捗は		(1)AI・RPA導入の推進を	
小林 茂	12	(2)新たな歳入創出と財源確保を	
(1)買い物弱者に対する総合的政策は		山岸 裕始	17
小林 正子	13	(1)中学校が管理していた各自治会の花壇の引き継ぎ状況は	
(1)小布施橋の塗装を早急に変更し長寿命化の対策を		川上 健一	18
(2)除雪区域の抜本的な見直しを		(1)小さな自治会の問題や課題は	
渡辺 建次	14	(2)太陽光発電パネルの設置のルール作りは	
(1)路上に放置されたゴミを拾い易くする態勢の整備を		福島 浩洋	19
(2)読み聞かせと幼保小の適切な連携は		(1)子ども達が安心して通える通学路の整備について	
(3)社会参加体験による小中学生からの主権者意識の育成		(2)国道403号に二つ目の浸透樹設置を	
小淵 晃	20	小淵 晃	20
(1)「見にマラソン」の成果を街の中まで波及させるために		(1)「見にマラソン」の成果を街の中まで波及させるために	
中村 雅代	21	(1)種子法廃止後の対策は	
(1)種子法廃止後の対策は		(2)熱中症対策は	

人事案件に同意

① 小布施町監査委員



畔上 洋氏
【再任】

任期・平成30年10月1日から4年間
住所・六川

② 小布施町教育委員



神戸博之氏
【再任】

任期・平成30年10月1日から4年間
住所・中条

※いずれの方も全員賛成で同意しました。



元気はつらつ小布施っ子



小林一広議員

浅川第三排水機場が完成し、 吉島地区の農地は浸水から守られるのか 畔上建設水道課長 減災対策ができたものと思っている

Q 「治水専用ダム」として浅川ダムが平成29年3月に完成しました。並行して内水対策として浅川第三排水機場の建設も行われ、今年6月に完成し、7月の豪雨では7月6日に最初の運用が開始されました。

A 浸水に対する見解は。第三排水機場に毎秒14トンのポンプが整備され、これにより浅川総合内水対策計画短期整備が大方完成したところです。以前にも増して減災対策ができたものと思っています。

Q 小布施町の大切な農地・営農を守る行政として、一団のまとまった優良な農地としての吉島地区の

A 現行では、行政として補償に対する制度がないので、農業災害保険（共済）での対応が現実的と考えます。

Q 中長期計画があるようですがどのような内容ですか。時期は明確ではありませんが、毎秒7トンのポンプの設置、堤防の嵩上げなどが計画されています。立ヶ花狭窄部の通水能力向上、千曲川下流での堤防整備など抜本的な河川改修が一



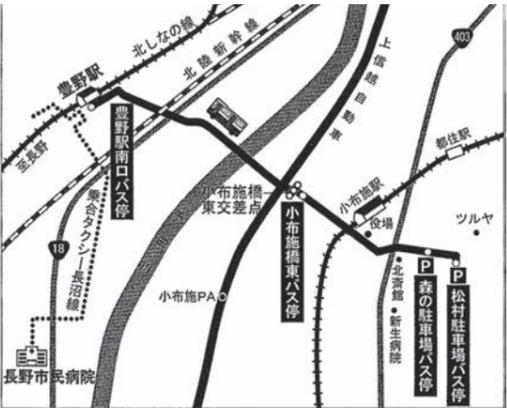
新設の第三排水機場



吉島地区の農地

Q 実際に浸水した時の排水作業は、長野市の方が積極的に行っていると感じている農家がありますがどうか。

A 小布施町でも新たにポンプ2台を更新しました。実際にそのような問題が発生した時は速やかに申し出てくださいます。



10月1日〜12月28日まで通勤・通学のための実験的な運行が、おこなわれる

Q

平成29年度に町民の皆さんにアンケート調査にご協力いただき、地域公共交通会議でこれからの課題や方向性を現在話し合っていると考えています。

今後さらに高齢化が進む中、日常生活の最低限の移動を確保すると同時に、豊かに暮らしていただ



小西和実議員

地域交通を整備する際の優先順位は 西原企画政策課長 移動手段がない皆さんが安心して生活できる 公共交通網の構築が最優先課題と考えます

くための地域交通が求められています。

町報8月号には「暮らしを支える地域交通」とあるように重要なのは、地域交通を考えるにあたっての出発点は『移動支援を必要とされる人への支援である』ということとです。地域交通の原点は、不足なく満たされるように努める

「福祉」の観点です。皆さんの税金を使う公助を利用するにはそれなりの必要性が無ければなりません。満たされているニーズに余剰の行政サービスを与えるような税金の無駄遣いはあってはなりません。観光客に利用させるなどすべきではなく、純粋に地域間交通に専念すべきであると考えます。

財政的な観点からは小布施町の現状では、取り組む課題と方向性に優先順位をつけて行っていくしかない状況であると思われれます。今後どのような優先順位で地域交通に取り組んでいくか示してく

だいたい。買い物や通院など通常の生活を営むための移動手段がない皆さんが、安心して生活できるような公共交通網の構築が最優先課題であるとの考えです。

Q

労働環境の改善は、いまや国全体に関わる課題です。安倍晋三首相は2016年9月、内閣官房に「働き方改革実現推進室」を設置し、働き方改革の取り組みを提唱しました。働き方改革とは、一言でいえば「一億総活躍社会を実現するための改革」といえます。一億総活躍社会とは、少子高齢化が進む中でも「50年後も人口

小布施町行政における 働き方改革の進捗は 田中総務課長 内部で検討を進めている

1億人を維持し、職場・家庭・地域で誰しもが活躍できる社会」です。今のタイミングで一億総活躍社会を目標に掲げた背景には「生産年齢人口が総人口を上回るペースで減少していること」があげられます。労働力の主力となる生産年齢人口（15〜64歳）が想定以上のペースで減少しているわけですから、働き方改革の目的・概要は前記のようにお伝えしたとおりですが、これらを実現するためには①長時間労働、②非正規と正社員の格差、③労働人口不足（高齢者の就労促進）という3つの課題があります。

小布施町行政では現在、どのようにこれらに取り組んでいるか、進捗も含めて示してください。

A 本年度より働き方改革プロジェクトを設置し、働きやすい環境づくりの検討を行っております。

それぞれの課題については、①計画的な職員の採用、仕事量の負担軽減など職員の働きやすい職場環境づくりを目指します。②適正な価格の改定に向けて準備を進めます。③国の動向を注視し「定年延長」の導入を進めます。



小林 茂議員

買い物弱者に対する総合政策は

全庁を挙げて取り組み

永井福祉課長補佐

Q

商店、スーパーの閉店や郊外移転が進み、生活環境が悪化して買い物に困る人が増えている。一方、買物物の困難さから食事の栄養バランスが偏り、「低栄養」なども危惧されている。小

A

布施町の「買い物弱者」の定義は、買い物弱者について、町として明確な定義はしていないが、買物支援のためのバスの運行や、地域生活交通の維持・確保に向けた取り組みとしてバス

Q

運行の試行などを行ってきました。食品スーパーやコンビニが自宅から直線距離で500m以上離れている世帯が買物弱者の対象となると、世帯数の割合が該当すると推定しているか。

A

個人の免許保有率を加味して仮定すると、大まかであるが全世帯の12%弱、440戸程度が買物弱者と仮定することができます。

Q

買物弱者に対する自助・共助・公助別対応策の有無と将来構想は。

A

町社会福祉協議会が行う有償のくらし安心サポート「福ちゃん」や福祉基金事業の車両貸出サービス事業等もあるが、買物に行くために気軽に利用できる公共交通網の構築が重要と考えます。



食品スーパーやコンビニが自宅から500メートル以上離れている世帯が買い物弱者の対象とすると円から外れた世帯が「買い物弱者」になり得る。

Q

フードデザート（食の砂漠）に対する対応策は買い物弱者だけの課題ではない。総合的に取り組む必要があると思うが、フードデザートについては、これまでの栄養指導の取り組みに加えて個人が健康を維持するためには何をどう食べればいいのか、食を選択する力をつけることに重点を置き栄養指導の取り組みを進めていきます。

A

住民に近い場所に店を作るためには、都市計画の線引きの見直し、特区等の取り組みを早急に検討すべきと思うが。

Q

市街化調整区画的の開發許可基準の枠内でも飲食料品小売業や医薬品・化粧品小売業などが認められていますので、要望があれば相談のうえで、検討してまいります。

Q

住環境の悪化に対して、将来を見据えた横断的な取り組みが必要と思うが。

A

買物弱者対策は横断的に全庁挙げて、総合施策として取り組んでいきます。



小林正子議員

小布施橋塗装劣化放置「情けない」の声 長寿命化のため塗り替えを早期に 皆さんの心配の声を伝える 県に強く要望していきます

畔上建設水道課長

Q

小布施橋の塗装剥離と鉄骨のサビ進行に対して「心配だ」「情けない」との声が強く寄せられています。①県がいつ塗装するか「未定」というのがこれまでの答弁ですが放置してはなりません。県はいつ塗り替える計画か、明確な答弁を。②全面供用開始から50年。一部区間は60年超で長大橋の架け替えはすぐには考えられず、長寿命化が重要で、塗り替えは基本中の基本。町はそれをどう認識していますか。③小布施橋も何か大きな事故につながる心配がある。県の点検で「構造上問題ない」との報告ですが、インフラ事故はどれも事前の点検時に問題なかったところで起きています。事故が起きる前にしっかり補修改修してもらおう。その基本である塗装の塗り替えを県に対して強く要望していただきたい。④長寿命化にとって、塗装剥離部分の「部分塗装」も、長寿命化に効果があ

A

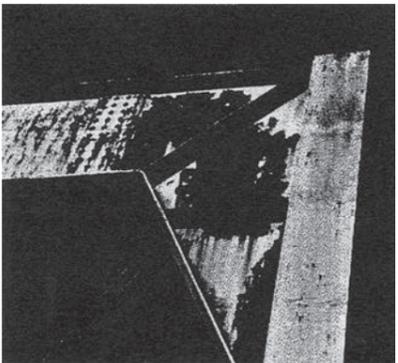
ると言われ、国土交通省はその要綱も出しています。長寿命化への対策を求めます。

A

小布施橋を管理する須坂建設事務所から30年1月の点検の結果、塗装は「橋の機能に支障ないが予防保全の観点から措置が望ましい」とのこと。その他に「早期に措置が必要な部分を確認され、早期の修繕を進める」との回答。町として、町民から心配の声があることを伝えていきます。

Q

小布施橋の長寿命化と塗装の重要性をどう認識して



塗装がはがれ、各所にサビが目立つ鉄骨

A

建設事務所は「車道の除雪で限界、歩道は地域で協力を」との回答でした。陸橋歩道の利用を調べましたが、早朝通学通勤は一日5〜6人。陸橋近辺の町道を利用できるよう除雪します。②事業社数と距離、時間、費用から拡大に慎重。除雪も災害の

Q

①国道403号陸橋部分の歩道除雪は行われていませんが、県の対応は。②高齢親世代のみの居住実態により、住民による除雪困難区域は年々拡大しています。町の除雪区域に加えていただきたい。

A

①建設事務所は「車道の除雪で限界、歩道は地域で協力を」との回答でした。陸橋歩道の利用を調べましたが、早朝通学通勤は一日5〜6人。陸橋近辺の町道を利用できるよう除雪します。②事業社数と距離、時間、費用から拡大に慎重。除雪も災害の

住民による除雪困難増加 町除雪区域拡充を 久保田副町長 拡充ありきでなく対策

久保田副町長

①国道403号陸橋部分の歩道除雪は行われていませんが、県の対応は。②高齢親世代のみの居住実態により、住民による除雪困難区域は年々拡大しています。町の除雪区域に加えていただきたい。

A

①建設事務所は「車道の除雪で限界、歩道は地域で協力を」との回答でした。陸橋歩道の利用を調べましたが、早朝通学通勤は一日5〜6人。陸橋近辺の町道を利用できるよう除雪します。②事業社数と距離、時間、費用から拡大に慎重。除雪も災害の





渡辺建次議員

放置ゴミを拾い易くする態勢の整備を 町社協のボランティアセンターにて 相談支援

林健康福祉課長

Q 国道403号沿いの路肩に散乱するゴミが放置状態です。道路の清掃の状況は。

A 道路管理をしている須坂建設事務所では、優先度の高いところから順次対応しているとのこと。小布施の場合には、年一回行っています。県管理の道路の愛護団体には清掃活動をしている団体はないとのこと。

Q 意欲ある町民が、ゴミ拾いを行うときのために、ボランティア用の車のステッカーやベスト、帽子、腕章等を貸与してはどうでしょうか。

A ゴミ拾い等のボランティアの活動には、町社会福祉協議会が運営するボランティアセンターにて相談支援を行っています。何かを身につけることなどを好まない方も多いと思われる。要望があれば、経費を含め検討させていただきます。

Q 幼児期の適切な言語獲得は、子どもの認知的発達に根幹をなし、主体の人格形成に与える影響を与えているとされています。

A 読み聞かせによって、子どもの感情の安定、すなわち子どもの心を豊かにし、感性や想像力だけでなく、子どもの心の基盤となります。「自己肯定感」を高めるといふことと、言語能力の向上、ひいては親子間の親しみ(愛情形成)が生まれることなどが調査結果から報告されており、また、読み聞かせは「心の脳に届く」とも言われています。

Q 保育園や認定子ども園での読み聞かせの状況はどのようにみ聞かせの状況はどのようになっています。

A 昨年から今年11月末までの1年間の使用契約を結び、月に2〜3回、1回につき2日〜5日間程度の期間滞在し「栗のお茶」の製造販売事業のほかIOTを活用した地域電子通信事業の展開を図っていましたが、総務省のIOTサービス創出支援事業への申請が不採択となり事業継続が難しくなりました。※「IOTアイオーティー」とは、あらゆる物がインターネットを経由して通信出来る事

Q 一日に2回から3回読み聞かせの時間を設けています。

A まちとしょテラソでの読み聞かせの状況はどのようになっているでしょうか。

Q 毎月2回、土曜日の午前中、1回あたり30分程度、参加者は10人前後です。

A 家庭での読み聞かせの実態はどのようになっていますか。詳しくは把握していませんが、保育園や認定子ども園では絵本の貸し出しを行っています。

Q 8月5日執行の長野県知事選挙の投票率は。

A 全体では、小布施町44.66% (県は43.28%)、年代別では、18歳が39% (県は38.81%)、19歳が21.38% (県は21.51%)。各年代の小布施町の投票率は、20代が26.46%、30代が34.10%、40代が41.31%、50代が52.16%、60代が54.47%、70代が56.46%、80代以上が35.17%となっています。

Q 小中学校では、地域社会の課題についてどのように解決策を考えていますか。また、子ども議会の開催は。

A 中学校では、「小布施の未来発表会」を開催しています。子ども議会は今後の検討課題です。



体験型サテライトオフィスの利用実績と今後の展開は

関谷明生議員

西原企画政策課長

Q 企業誘致を促進するため、国の地方創生推進交付金を活用して体験型のサテライトオフィスとして横町の旧交番を整備しました。住友不動産と昨年7月に協定を結び、その紹介で都内のインターネットサービス業「MDパートナーズ」が昨年の12月から利用し「栗のお茶」を製品開発し製造販売してきました。しかし契約期間途中の7月末に退去されました。その経緯については。

A 昨年12月から今年11月末までの1年間の使用契約を結び、月に2〜3回、1回につき2日〜5日間程度の期間滞在し「栗のお茶」の製造販売事業のほかIOTを活用した地域電子通信事業の展開を図っていましたが、総務省のIOTサービス創出支援事業への申請が不採択となり事業継続が難しくなりました。※「IOTアイオーティー」とは、あらゆる物がインターネットを経由して通信出来る事

Q 今後の事業展開をどのようになら考え、対応されるのか。

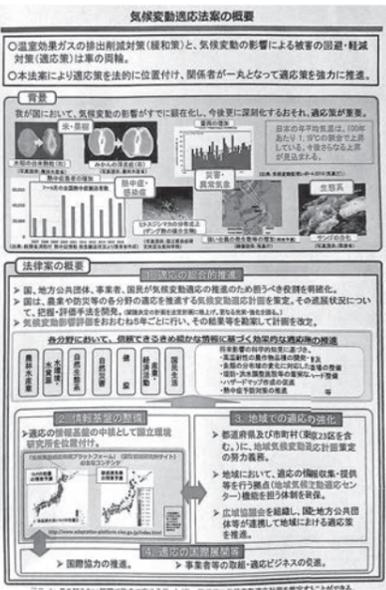
A 体験型サテライトオフィスは、広がりつつあるテレワークを含めた働き方改革やサテライトオフィス開設に向けて検討を進めている民間企業等に体験利用していただくことを目的とした施設です。今後の事業展開では利用される事業者さんにはまず施設をご利用

Q 地球温暖化による被害の軽減を強化するための「気候変動適応法」が本年6月6日の参院本会議で全会一致で可決成立しました。同法は、温暖化の影響は既に国内で現れているとの前提で国

A 地球温暖化による被害の軽減を強化するための「気候変動適応法」が本年6月6日の参院本会議で全会一致で可決成立しました。同法は、温暖化の影響は既に国内で現れているとの前提で国

Q 気候変動適応法の概要

Q 気候変動適応法の概要



体験型サテライトオフィス

Q 今後の事業展開をどのようになら考え、対応されるのか。

Q 地球温暖化による被害の軽減を強化するための「気候変動適応法」が本年6月6日の参院本会議で全会一致で可決成立しました。同法は、温暖化の影響は既に国内で現れているとの前提で国



大島孝司議員

AI（人工知能）、RPA（ロボットによる業務自動化）導入の推進を

市村町長 一、二年の間に予算確保も含め対策をまとめた

Q

小布施町では、AI、RPAの導入にどのように取り組んでいくのか、見解を伺います。AI、RPA活用の可能性の一例として以下の項目があります。●電話、窓口等での問い合わせ●自動翻訳サービス●災害防止●条例作成、条例改正●音声認識による議事録作成●一般会計、特別会計、基金の出納管理●政策立案●インフラ、建築物管理●教育●医療●交通、等々その活用はいろいろと考えられます。コンピュータができることは人にはさせないで、人は人でしかできないことに重点的に時間を投入させるべきと考えます。また、このような先端技術こそ大学との連携も効果が出ると思えますが見解を伺います。

A

ご指摘のとおり、AIやRPAの導入を推進していく必要性を認識しています。

Q

Iに期待する業務としては、多言語に対応した自動翻訳、音声認識による議事録作成、道路の状況把握や修繕計画は比較的早く導入できる業務と思います。迅速な対応、正確な判断を要する医療、介護分野に導入できれば職員の負担も減り、業務改善が図られると考えます。10年後を見据え、一年から二年の間に、予算確保も含め、対策をまとめたと思います。大学との連携については、長野県立大学なども含め研究機関の協力もいただき、魅力あるまち、小布施町だからこそできる行政モデルを一緒に構築できるよう働きかけていきたいと思います。

A

ふるさと創造館については指定管理以外の方法も含め検討します。総合公園駐車場の目的外駐車につきましては、利用

新たな歳入創出と 財源確保を

中條総務課長補佐
収益を生む公共施設への 転換を検討します



長野市公式ホームページトップより バナー広告欄を設け広告を募集

者の状況を的確に把握し応分の負担をいただくことも必要と考えています。

ホームページバナー広告については実施可能であれば広告枠を設け歳入確保に努めていきます。自販機、デジタルサイネージについては先進的な取り組みをしている自治体を参考に、今後検討していきます。公共施設については、収益を生む公共施設への転換を検討します。



山岸裕始議員

中学校が管理していた各自治会の花壇の引き継ぎ状況は

三輪教育次長 各自治会や育成会に会議の場でお願いましたが、十分に周知ができていない。今後、より中学生が関わる環境を整えたい

Q

潤いのある美しいまちづくりを目指す小布施町では、1980年、町内自治会に「町を美しくする事業推進委員会」を発足し、地区単位による美化運動が進められました。中学校生徒会にも緑化部が生まれ、子供達が育てた花を、地域において老人会・育成会とともに花壇づくりが始まりました。

長い期間、中学校が行う花づくりは中学校の授業の一環として学校が主体で進めてきていただきました。

町内を鮮やかに彩っていただきましたが各自治会の花壇の規模や子どもの人数の違いもあり中学の授業として行うことが難しくなってきました。

ここ数年は、小布施学園コミュニティースクール運営委員会の提案もあり中学の授業ではなく、自治会が中心になり育成会と一緒に子どもが関われる形に変わってきました。

形が変わり、学校ではより学校行事のための時間が確保できる、また自治会でも町外の私立の学校に通う子ども達も自治会活動に参加できる等良い結果が出てきた部分もあります。

しかしながら、まだ十分に自治会に周知されている状況ではなく自治会によって花壇の整備状況や

子ども達との関わり方に差があるのが実態です。
(1) 花壇の整備に関して自治会にどのような周知を行っているか。
また(2) 花壇整備に育成会に関わっていただいている割合はどの程度か。

A

中学校生徒会の花壇については、年々時間のやり繰りが難しくなっていることや、町全体に配布する苗を学校で育成することも大きな負担となっていることから、行事の見直しについて、小布施学園コミュニティースクール委員会の皆さんと検討しました。

その結果、各自治会や育成会に花壇管理をお願いし、そこに中学生も一緒に参加して、交流を深める形にさせていただかないかとの結論に至り、分館長会議や花づくり推進委員会の場で皆さんにお願いしましたが、十分に周知が分かれていない状況にあります。



各自治体での花壇整備は中学生の参加をいただき進めている

花壇整備に育成会が関わっていただいている割合は把握できておりません。

今後、改めて各自治会に趣旨を説明し周知を図り、地域の花づくりに中学生が関わる環境を整えるよう努めていきます。



花の町として長年にわたり様々な取り組みを続けてきた



川上健一議員

小さな自治会の問題や課題は

市村町長 地域にあった具体的な施策について検討します

Q 町内の比較的小さな自治会の役員から、自治会を維持していくのが大変になってきているという声が聞かれるようになってきました。

小さな自治会は、元々昔から軒数が少なく、そこに暮らす人の数も少ないわけですが、自治会の役員の体制も、大きな自治会と変わりなく維持されてきました。また自治会の様々な事業も同様に進められてきました。

先ごろ成し遂げられた、公会堂耐震化事業も大きな自治会と変わりなく立派に実施され、各戸にとって金銭的・精神的負担は大変なものだったと思います。

今後周辺部の中でも小さな自治会は人が少なく、自治会役員体制の維持や自治会費等の負担増も考えられ、自治会として維持していくことがこれまで以上に難しくなってくるものと思います。

①このような自治会に対し、町

として問題解決に向け、解決策・打開策を提案・提示したことはありますか。

②町も現在人口減少時代に向け、その対策に取り組んでいるところでありますが、小さな自治会の抱えている問題解決なくして、町の人口減少は止められないと思うが、町はどう考えていますか。

③早急に町として対策を講じ、手を打っていかないと、自治会が自治会として機能しなくなり、具体的な策があったら示してください。

A ①自治会と町は常に連絡を取り、様々な質問や支援を求める場面に丁寧に対応しています。また、公会堂の耐震改修では補助金や無利子の貸し付けを行いました。コミュニティの推進も自治会事務の軽減の一つです。

②町は人口減少対策として、県の地域振興局と協議をする中、都市計画と農政が一体となって、土

地問題に対処する専用窓口の設置を求め、協議を進めています。

③町は市内に都住地区の駅周辺の活性化に関するプロジェクトを立ち上げ、研究を進めています。六川、中子塚、矢島、清水を起点とし、全町へ取組みを進める足がかりにしていきたいです。

太陽光発電のパネルの設置のルール作りは

一定のルール作りが必要と考えます

Q 最近町内に太陽光発電パネルの設置が増えてきています。東日本大震災以降全国的に太陽光発電が再生エネルギーの筆頭格となり、急激に増加しており、各地にメガソーラーシステムが登場し、中には地元の住民の設置反対の動きに、設置が頓挫したところも出てきています。

町には景観を美しく保つために建築物や看板に制限が定められています。

①ソーラーパネルの設置が急増しているが町はどう考えていますか。

②ルール作りが必要と思うが。

③町でも再生エネルギーで将来的に町内電力を100%賄うことを目標に電力会社と提携し、事業を展開していくこととしており、また景観面にも配慮した設置方法など一緒に考え、実施をしたいと思っています。

②一定のルール作りが必要。条例の新設や改正、景観計画の変更もしていきたいと考えています。



町中心部に設置されたソーラーパネル



福島浩洋議員

子ども達が安心して通える通学路の整備について

地元自治会と打ち合わせなどして危険箇所の解消に努めていきたい

町建設水道課長

Q 各自治会内の主要道路は通学、通勤、農作業等と重なっている。水路の上も歩行用通路として利用され、通学路にもなっているが、突然、水路の蓋が無くなっているが大変危険な箇所が結構あります。安全安心宣言の町として子ども達への心づかいはどうのように考えていますか。

A 水路に蓋をかける場合は地元の要望事業となっており、子ども達のことを考え地元自治会と打ち合わせをし今後危険箇所の解消に努めてまいります。

Q 通学路の色分け箇所が学校までつながっていませんが、いつまでつながるのか。また色はおとなしすぎでよく分からないが。

A 今年度の予算で六川地区他にも整備が必要な箇所があります。毎年予算の範囲内で実施し、できるだけ早くつながるように努力していきます。カラー舗装の色については景観面などを踏まえて現在の色にしました。

Q ほとんどの町道で両サイドの白線が消えたり消えかかったりしています。また、横断区画のゼブラ線も同様です。早急に予算化をし現状復帰にすべきで、素早い対応を望みます。

A 道路両サイドの白線については予算の範囲内で傷みの激しい箇所を中心に毎年春先に実施しています。横断歩道部分については県公安委員会の管理で、危険と思われる箇所は随時修復依頼をしています。(町内横断歩道は現在120箇所あります。)

国道403号に二つ目の浸透式施設の設置を必要と考えます

町建設水道課長

Q 近頃のゲリラ豪雨の対応として国道403号の東側にも早急に雨水浸透施設が必要と思われませんが考えは。

A 伊勢町雨水浸透施設は施設の構造制約を受け800トン程のものしか整備できませんでした。今後町管理施設等への雨水浸透柵の設置や水路改良など検討。



ゲリラ豪雨、25分で8分目迄流入した雨水・伊勢町浸透式施設

計画をしていきます。近年のゲリラ豪雨時の状況を見ても十分とはいえません。今後集中豪雨に、どのような対応が可能か研究をしていきます。現在県と一緒に進めている国道403号の整備の中でも浸透柵設置(候補地も含めて)など雨水対策に取り組んでいきます。



両サイドの側溝が開渠になっている通学路



小淵 晃議員

「見にもマラソン」の成果を、街の中まで波及させるために 町民のみなさんの「見にもマラソン」への ご協力に感謝し、より一層の充実に努めます

Q 第16回小布施見にもマラソンが7月15日に開催されました。全国からの参加者に小布施

の田園風景を楽しんでいただきました。またボランティアを含めると約1万人ものビックイベントで

したが、大きな事故もなく大成功で開催できましたのは、実行委員会の周到な準備および大勢のボランティアのご尽力のおかげと高く評価されています。

「見にもマラソン」故にコース内での気球遊覧・炎天の野点・牛の焼肉・りんごジュース・給水所での小学生の応援、そしてゴールではタオルを女子生徒から掛けていただ

参加者の感謝と笑顔がいっぱい



参加者の帰路はシャトルバスで小布施駅か、臨時駐車場に向かいそのまま小布施を離れていかれます。せっかく小布施にお出でいただいた皆さんです。ゆつくりと街の中も楽しんでいただけるよう検討として、

参加者の年齢は40歳代が約29%、50歳代が約28%が中心です。そしてリピーター率は約65%で前回は約64%でほぼ同じ水準でした。参加者の交通手段はマイカーが66%、公共交通機関の利用者が28%で残りの6%はツアー等です。参加者の宿泊地は約6割が長野市でした。

参加者が小布施での滞在時間を延ばしていただくために、実行委員会のご苦勞は想定できますが、町外の臨時駐車場のほかに町内に一日だけの臨時駐車場（公会堂、神社、空き畑、個人の庭）を設置し、町民の皆さんとの交流の場を創ってはいかがでしょうか。

参加者にできるだけ町内を散策いただくために、大会前日の受付の駐車場を小学校のグラウンドから中学校のグラウンドに変えました。

町内の一日だけの臨時駐車場は、希望者の駐車場への誘導等の対応、民泊・公会堂等の宿泊は、希望者と受入れ可能の人数の調整、宿泊後の事務処理などの新たな業務を担うことになり、大変難しいことですが、見にもマラソンの進化のため出来ることから考えてまいります。



種子法廃止後の対応は

竹内産業振興課長

町としても、生産者や消費者の方が不安に感じていると認識しています

Q 県は稲・麦・大豆の優良な種子の生産・普及を各都道府県に義務づける「主要農産物種子法」が3月31日をもって廃止

町として、この条例にどんなことを盛り込んでほしいと考えているでしょうか。

A 「主要農産物種子法」は昭和27年に制定以来、都道府県が主体となり開発した優良な種を「奨励品種」と定め生産者に提供することで、国民への安定的な食料供給はもたらん過度な民間参入や知見流出を防ぐ大きな役割を果たしてきました。廃止された理由として●民間育成品種が奨励品種として一つも採用されなかったことは構造的欠陥があったと思われまます。●都道府県の枠を超えた広域的戦略的な開発が現行では応えられていない。●全国一律に義務付けはどうかなど挙げられたことが国会での十分な議論がなかったことや、大手民間参入による食の多様性の崩壊などが懸念されています。県は独自の対策を講じています。県は独自の対策を講じています。条例制定はまだ不透明

避難所での熱中症対策は 田中総務課長 今ある施設の有効活用を

Q 今年には異常気象続きで猛暑日の記録が次々と更新され、連日、暑さ対策のニュースや情報提供が行われました。今後、避難所に指定されている体育館等はエアコンの設置等が必要となるでしょうか。

今年には異常気象続きで猛暑日の記録が次々と更新され、連日、暑さ対策のニュースや情報提供が行われました。今後、避難所に指定されている体育館等はエアコンの設置等が必要となるでしょうか。

そこで、当町の体育館等の避難所についての熱中症対策などについて伺います。

「小布施町地域防災計画」による第1避難所及び指定避難所の冷房設備の状況はどうでしょうか。また、指定避難所にはなっていないが、猛暑対策の一時的避難とし

て「まちとしよテラス」の活用はどうでしょうか。日々の体育館利用の熱中症対策としてどのような配慮を行っていきますか

A 4つの公会堂には冷房を設置した部屋があり、指定避難所は一部の施設で冷房のある施設もあるが体育館、トレーニングセンターなど、ほとんど冷房のある施設はありません。テラスは地震の際、本が散乱し書架が倒れる恐れがあり危険と考えています。なお、避難時には高齢者、子ども、妊婦、体の不自由な方々を優先的に冷房のある施設に誘導できるように検討します。日々の体育館での対策はこまめな水分補給と休息を自己管理でお願いしたいと考えています。



スポットエアコンも有効!

Q ①種子法廃止についてどのようにお考えでしょうか。②県は、種子法に代わる県独自の条例制定を考えているようですが、

①種子法廃止についてどのようにお考えでしょうか。②県は、種子法に代わる県独自の条例制定を考えているようですが、

①種子法廃止についてどのようにお考えでしょうか。②県は、種子法に代わる県独自の条例制定を考えているようですが、

視察 委員会 研修会 議事 日誌 活動

江藤俊昭講師による「これからの町村議会のあり方」と題して、町村議会をめぐる最近の動向の中で議員のなり手不足が大きな問題になっている。その要因のひとつとして①条件の悪さや②地域力の減退、解消方法の一例として③住民と歩む議会や住民福祉の向上に貢献④地域力の活性化⑤二元代表制における住民との信頼強化他、参考資料にて説明を受けました。第二の講師として、今年度、新設された長野県立大学の田村秀教授による「観光による地域振興について」と題して群馬県みなかみ町の取り組みを資料に基づき紹介、観光と地方創生・資産地消の食文化また外国人



観光による地域振興について
長野県立大学グローバルマネジメント学部教授・公共経営コース長
群馬県みなかみ町参事
(一社)日本食文化観光推進機構理事長
(一社)日本シニアマネージャー協会理事
田村 秀

新設・長野県立大学 田村教授の講演

議員のなり手不足が大きな問題
七月二十日
伊那市文化会館

観光客誘致（インバウンド）の課題について発表。長野県の市町村は地方創生人材支援制度の活用は消極的では？町を元気にするには、多くの人に来てもらう事が一番！

多くの人を惹きつける観光資源は、そこに行かないと食べられないと言った魅力的な当地の味や資源・その事に早く気がついてほしい。また観光、食文化の差別化による市町村活性化についても聞きしました。約650人を超える参加者がありました。

中野市、小布施町の首長、議長、議会議員各自治会長や関係者が参加して、千曲川への排水ポンプ能力増強（20t/m³/秒を30t/m³/秒）増設を国・県に要望する決議案が承認されました。またオプザバーとして関連県議と方面建設事務所の方々が参加されました。

小布施町戦没者追悼式
八月十五日
北斎ホール

471柱の御霊に対して町長、議長より追悼の言葉、また遺族会代表より御礼の挨拶の後、御霊に黙とうと参列者全員にて白菊の献花にて終了しました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

篠井川改修促進期成同盟会総会
八月二十七日
中野市民会館

第31回、くりんこ祭りで元気よく、くりんこ音頭と弾き舞を雨の中踊りました。途中、各自治会連、JA連、新生病院連、商工会連、各銀行連、町役場連ほか元氣な皆さんとすれ違いながら笑顔を交わしたり、ご無沙汰の挨拶を交わしたり楽しく参加しました。特に小中学生のパワーあふれる行進に改めて、若いエネルギーをいただきました。準備から当日の段取り、警備、後片付けの皆様方には心から感謝申し上げます。

くりんこ祭り町議会連も参加
七月二十八日



議会報告会&意見交換会開催 8月10日 貴重なご意見いただきました

第7コミュニティ(六川・中子塚・矢島・清水)

六川公会堂で開催。議長・自治会長の挨拶の後、議会からは、主なものとして、○議案の審議に関する事として議会議員の役割・月例会議、30年度の当初予算の概要他○議会活動に関する事項として議会改革の遷について、特別委員会報告、議員のなり手不足検討委員会の企画等の報告をしました。

出席された皆さんからの意見、要望として①通年議会とは、どのようなものか。②政策立案常任委員会では今までのような案件が検討されたのか。③議会報告会に来る住民が少ないし無責任、しかしながら議会側も開催のタイミングや方法を改善してほしい。④荒廃農地の問題として賃貸借を行った場合、土地改良区との関係が悩ましい。⑤高齢化で農業ができない農家が増えつつある、是非対策を考えてほしい。⑥小布施のまちづくりは、中心部が栄えている、多くの住民は農村部に住んでいる、農村部のまちづくりを進めてほしい。⑦都住駅のトイレの改修を是非進めてほしい。⑧町内での出産率が低い



活発な意見交換が行われました

向上する施策を、また子どもを生まやすい、育てやすい環境を整備し更なる定住促進をして行く事が必要と考える。⑨子どもの夏休み等は児童クラブの時間帯が不便、共稼ぎの親が働けない状況になっているので考えてほしい。等々有りました。これを踏まえて、議員がやるべきこと、また町行政に皆さんの要望として伝えるべき事項を整理して進めてまいります。

わが町へ全国 16 市町村からの視察をおもてなし (平成 29 年 9 月～平成 30 年 7 月)

次の市・町・村議会議員が小布施町議会に視察に来られました。

平成29年9月			平成30年2月		
日	市町村議会名・視察内容	人数	日	市町村議会名・視察内容	人数
28	香川県宇多津町議会 街並み修景	8	7	茨城県筑西市議会 観光	9
平成29年10月			平成30年4月		
日	市町村議会名・視察内容	人数	日	市町村議会名・視察内容	人数
18	宮崎県日南市議会 里親農家	9	19	東京都杉並区議会会派 修景	4
			20	兵庫県明石市議会会派 観光	3
平成29年11月			平成30年5月		
日	市町村議会名・視察内容	人数	日	市町村議会名・視察内容	人数
1	静岡県町村議会議長・議会 景観	13	22	宮崎県都農町議会 まちづくり	6
8	宮城県登米市議会会議 まちとよテラス	5	23	石川県志賀町議会 議会	8
15	静岡県森町議会 修景・農業振興	15			
16	栃木県那珂川町議会 幼保運営	8	平成30年6月		
16	山形県置賜地方町村議会議長会 議会・図書館	10	日	市町村議会名・視察内容	人数
平成30年1月			18	秋田県八郎湯町議会 まちとよテラス	13
日	市町村議会名・視察内容	人数	平成30年7月		
26	長野県立科町議会 まちとよテラス	7	日	市町村議会名・視察内容	人数
			4	鳥取県三朝町産業民生常任委員会 景観	7
			26	茨城県土浦市議会 まちとよテラス	13